

事業名	介護予防支援事業
-----	----------

総事業費	3,924 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	地域包括ケアの推進
	基本事業名	介護サービスの充実

② 実施 (Do)

事業の意図	住み慣れた地域で安心して生活ができる。	
事業の実績 と成果	取組内容	日常生活を送る上で、支援を必要とする人の状態を把握し、必要に応じて要介護・要支援認定の代理申請を行い、要支援認定者については、真に必要なサービスが受けられるよう適切なケアプランの作成を行った。
	成果	日常生活において、何らかの支援を必要とする在宅高齢者に対して、必要なサービスを受けられるよう適切なプランを作成し、介護保険制度の各種サービスを提供した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	地域包括支援センターのケアマネジャー不足により、各事業所への委託件数が増加傾向にある。市内の事業所も人材不足や職員の高齢化等によりサービスの廃止や縮小が出てきていることから、委託を請けてもらえない事態になる可能性もあるため、包括支援センターの専門職の配置が課題である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	高齢者の減少、要支援認定者の減少によりケアプラン作成件数は減少傾向にあるが、地域包括支援センターのケアマネジャー不足により、各事業所への委託件数が増加している。包括支援センターの専門職の配置が課題である。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	ケアプラン作成件数の増加に応じた職員体制を確保するため、新たにケアマネを雇用し、ケアプラン作成者の業務負担を軽減しながら資質向上を図る取組が必要である。
------------	--

事業名	高齢者等配食サービス事業
-----	--------------

総事業費	9,559 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	地域包括ケアの推進
	基本事業名	介護サービスの充実

② 実施 (Do)

事業の意図	支援が必要な高齢者等の栄養管理・安否確認を行う。	
事業の実績 と成果	取組内容	<ul style="list-style-type: none">・月1回のサービス調整検討会議で配食サービスの可否について、審査・決定を行う。・昼、夕の配食サービスを行い、栄養管理と安否確認を行っている。・利用者は1食当たり400円を支払い、市が見守りの委託料として1食当たり310円と地域に応じて交通費を支払う。・令和6年度の月平均利用者数は77人。年間延べ利用者数は933人、年間延べ配食数は28,459食。
	成果	支援を必要としている高齢者等に配食サービスを行うことで、栄養管理と安否確認ができています。また高齢者等本人の状況だけでなく、介護者の状況もサービス決定の視点に加えており、介護者の負担軽減にもなっています。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	現在は問題なく実施されているが、現在2事業者で市内全域を対応しているので、急病等不測の事態に備えて、今後は新たな事業者の開拓も必要となってくると思われる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	訪問介護事業所の人材不足等により、訪問介護の利用が困難な高齢者等も多くいることから、必要不可欠な事業となっている。長年2事業者で対応できている状況であるが、唯一の課題である急病等不測の事態に備えた事業者の開拓について、今年度は3事業所と協議をさせてもらったが解決に至っていない。次年度以降も考えていかなければならない。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	引き続き2事業者に委託を行うが、今後は新規事業者の開拓も考えていかなければならない。
------------	--